

令和3年度

子ども議会 答弁書

(発言順)

質問者 金子 楼依 議員（1 番）

1 1 人暮らしの高齢者について

ただいまの金子楼依議員のご質問にお答え申し上げます。

1 人暮らしの高齢者について、であります。令和元年度 群馬県ひとり暮らし高齢者基礎調査では、沼田市の 70 歳以上の人口は、1 万 1, 699 人で、そのうち、1, 786 人がひとり暮らしとなっており、高齢化率の上昇に伴い、ひとり暮らしの高齢者も増加傾向にあります。

平成 12 年度に始まった介護保険制度は、これからの超高齢化社会を支える仕組みとして創設されたものであり、サービスを必要とする人に、必要なサービスを提供するため、医療、介護、予防、生活支援等を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築し、推進することが重要となっています。

市では、共生社会の実現に向けて、地域における支え合いの活動を

推進しており、要介護者の孤立を防ぐため、老人クラブや民生委員・児童委員の皆さんによる見守り活動として、「ひとり暮らし高齢者に一声かける運動」を推進しているほか、緊急時の連絡や在宅生活を支援する「安否・緊急通報システム」、食生活の改善と健康増進のため、昼食の配食サービスと安否確認による見守りを行う「食の自立支援事業」等を実施しています。

日常生活で支援が必要となった場合には、沼田市地域包括支援センターや、各地域で活動している在宅介護支援センターの職員が状況を確認し、必要な介護保険サービス等を提供できる体制を整えており、今後も住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられるよう、地域包括支援センターを中心に、取組を進めていきたいと考えています。

以上申し上げます。金子^{かね}楼^こ依^る議員^いのご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 片桐 大翼 議員（2番）

1 「広報ぬまた」の編集発行について

ただいまの片桐大翼議員のご質問にお答え申し上げます。

「広報ぬまた」の編集発行についてであります。 「広報ぬまた」は、毎月1日に発行し、市内全世帯のほか、官公庁や病院などに配布しており、令和2年5月号からは、全ページをカラー印刷にし、生活情報をまとめるなど、見やすく、伝わりやすい紙面になるよう、リニューアルを行いました。

そのリニューアルに合わせ、市内の小中学校と利根沼田管内の高校の特色ある取り組みや部活動などを「輝くぬまたの未来っ子」のコーナーで、毎月1校ずつ紹介しています。片桐議員の通う沼田北小学校は、今年の3月号に、児童会企画委員が中心となり取り組んでいるピアサポート活動について掲載させていただきました。

片桐議員からの各小中学校の子ども達が、自分の学校の手作りペー

ジを掲げるという提案につきましては、今後の参考とさせていただき、教育委員会や学校などの意見を聞きながら研究していきたいと思えます。

「広報ぬまた」の発行にあたりましては、今後も限られた紙面の中で、小中学生から高齢者まで、市民の皆さんに興味をもって読んでもらえるよう、市民と行政を結ぶパイプラインとして充実した広報紙づくりに努めていきたいと考えています。

以上申し上げます、^{かたぎりだいすけ}片桐大翼議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 間野 心々香 議員（3番）

1 学校給食の残飯処理について

ただいまの^{まのみみか}間野心々香議員のご質問にお答え申し上げます。

学校給食の残飯処理について、であります。学校給食センターでは、給食のメニューを工夫し、食べ残しの削減に努めていますが、^ま間の議員のご指摘のとおり、一定量の食べ残しが出ています。これらの食べ残しを肥料として再利用するには、食べ残しに含まれる塩分などの調味料を取り除く必要があり、専門業者をお願いしなければならぬため、現在は、全て焼却処分としています。

学校給食では、地元の安全でおいしい食材を活用することで、地域の食について知り、地域への愛着を育んでもらえるよう取り組むとともに、児童・生徒の健康や成長に配慮したバランスの良い給食を提供しています。また、地元産のおいしいお米を炊きたてで提供できるように、学校給食センターで精米・炊飯も行っています。

今後は、環境省のモデル事業における取組などを参考に、給食の食
べ残しの削減につながるような食育・環境教育の実施について、検討
していきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{まのみみか}間野心々香議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 角田 貴紀 議員（４番）

1 魅力ある沼田 発信！

ただいまの^{つのだたかのり}角田貴紀議員のご質問にお答え申し上げます。

「魅力ある沼田 発信！」についてであります。角田議員のおっしゃるように、本市には吹割の滝や玉原高原などに代表される「自然」、真田氏や土岐氏などにまつわる「歴史」、また四季折々に楽しめるフルーツをはじめとする「食」、更には著名人も輩出しているなど、魅力のある素材が多くあります。

昨年から、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光を含む各種イベントの中止が続いているなかではありますが、現在開催中の「上州沼田真田まつり」は、三密を避けた新しい誘客事業として、真田ゆかりの地を巡る、スマートフォンを使った「デジタルスタンプラリー」として実施しています。

また、街中が観光客で賑わうことは地域の活性化に繋がることから、

本市への貸し切りバスツアーを行う旅行会社に対して助成をおこなう「周遊バスツアー誘致事業」を実施しています。ツアー参加者には、街中などで使える「六文銭の食べ歩きチケット」を配布し、街中を周遊しながら買い物を楽しんでいただいています。

角田議員ご指摘のとおり、史跡巡りなどの歴史的な素材だけでなく、今後は、「自然」や「食」なども題材として、観光素材を組み合わせながら、効果的な観光誘客を行っていければと考えています。

また、新たな魅力素材の発見も含め、SNS等による情報発信などにも力を入れ、角田議員のおっしゃるように、沼田市に縁のある著名人などに協力していただき、動画などを活用した効果的な観光PR、メディアや雑誌等への露出など、観光協会等、関係機関と連携しながら進めていければと考えています。

以上申し上げます。角田^{つのだたかのり}貴紀議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 阿左見 優奈 議員（5番）

1 沼田市の学習環境について

ただいまの^{あざみ ゆな}阿左見優奈議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の学習環境について、自習室や塾など、勉強できる場所を増やすことは可能か、についてであります。現在、テラス沼田6階の市民活動拠点 コミュニティテラスロビーを勉強の場としても、自由に利用いただけるように日曜、祝日も開放しています。更に、テラス沼田では、土日祝祭日に限り、市役所業務で使用している防災会議室の一部を自習室として開放しています。今後もできる限り、市役所業務との調整を図り、自習室の開放を継続していきたいと考えています。

また、沼田市立図書館の読書室では、図書資料を参考にしながら調べ学習をしていただく場として開放しています。

以上、申し上げたとおり、学生や市民の皆様にも市有施設を有効に活

用いただけるように、学習環境の整備にも努めていますが、ご指摘のように、特に学校の定期テスト期間中などには、利用者が集中し、不便を感じることもあるかと思えます。

しかしながら、庁舎会議室等市有施設には限りがあるため、今以上に、自習室等を増やすことは、難しい状況でありますので、学校施設等の利用と併用しながら、引き続き、現在、開放しているテラス沼田の施設を有効に活用していただきたいと考えています。

なお、学習塾については、民間事業者が運営しているものでありますので、沼田市の対応としては考えていません。

以上申し上げまして、阿左見優奈^{あざみゆな}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 千明 心響 議員（6番）

1 沼田市の自然環境を守る取組について

ただいまの千明^{ちぎらしおん}心響議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の自然環境を守る取組についてであります。市では平成15年3月に沼田市環境基本条例を制定し、翌年平成16年3月に、豊かな自然の保全及び創造により、自然と共生できる地域づくりを行うことなどを基本方針とした「沼田市環境基本計画」を策定しました。この中では、自然環境の保全と再生や自然との共生を含む6つの柱を掲げ、総合的かつ計画的に推進しているところであります。

自然環境を豊かで美しいまま守っていくための取組ですが、一例を申し上げますと、玉原地区の自然環境を保全するため、玉原地区には元々なかった植物、いわゆる外来種の防除作業を行っているほか、「利根沼田自然を愛する会」の皆さんとともに、ブナ林を再生するためブナの幼木の植樹を行っています。また、ごみの不法投棄対策や市

内の生活河川の水質検査などの監視活動や、環境保全に対する理解を深めてもらうための啓発イベントなども実施しています。

近年、地球温暖化による気候変動などの影響により、大型化した台風や局所的な大雨による気象災害の発生も心配されていますが、本市の美しい山々や清らかな清流などの豊かな自然環境は、先人達が懸命に守り抜いてきた努力の賜物^{たまもの}であり、これらのおかげがえのない恵みを次の世代に引き継げるよう、多くの市民のご理解とご協力をいただきながら、自然環境の保全に努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、千明心響議員^{ちぎらしおん}のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 鈴木 捺萌 議員（7番）

1 使いやすいトイレのために

ただいまの^{すずき なつめ}鈴木捺萌議員のご質問にお答え申し上げます。

使いやすいトイレのために、についてであります。鈴木議員のおっしゃるとおり、家庭において洋式トイレが多くなり、和式トイレを利用できない児童・生徒が増えていることは認識しています。また、使いやすいトイレ環境は、子供たちが健康を保って、元気に学校生活を送る上でも、大変重要であると考えています。

本市では、これまでも、新築や大規模な改修の際に、トイレの洋式化を進めてきましたが、ここ数年は、児童・生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、地震に強い建物にしたり、エアコンを取り付けたりといった改修が中心となっていました。

令和2年3月に「沼田市学校施設長寿命化計画」を作り、校舎等の改修を計画的に進めていくこととしましたので、その中でトイレの環

境をよりよいものにしたいと考えています。

使いやすさをいろいろな面から考え、トイレの洋式化を始め、明るく、きれいに保つことに気を配るとともに、床の段差をなくし、車椅子でも利用できるバリアフリースペースの設置についても検討したいと考えています。

以上申し上げます、鈴木捺萌すずき なつめ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 芳野成海議員（8番）

1 沼田市を活性化させるために

ただいまの^{よしのなるみ}芳野成海議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市を活性化させるためについて、であります。沼田市では、たんばら高原や吹割の滝などの魅力的な観光スポット、自然豊かな中山間地の特徴を活かした農林産業や首都圏に近い立地条件など、多くの強みを持っています。

^{よしの}芳野議員ご提案の沼田市の強みを伸ばすことで、作物の出荷を増やし、果樹園や耕作地の範囲を広げることにあります。沼田市の強みである高品質で美味しい果物や野菜の良さを伸ばし活かしていくため、市では生産者の方々と連携し、農産物のブランド化や六次産業化に取り組んでいます。

そして、沼田市の農産物の情報発信や海外への販路拡大にも努め、沼田市の美味しい果物や野菜の認知度をさらに高めることにより、出

荷を増やし、果樹園や耕作地の範囲が広がるよう取り組んでまいりたいと考えています。

^{よしの}芳野議員ご指摘のとおり、沼田市の豊かな自然環境とそこで育まれた産物、先人が築き継承してきた歴史や文化など、本来、沼田市が持っている強みに加え、人口が少なかったり、不便であったり、一見、欠点とされていることを魅力として捉え直すことも、本市の活性化に繋がるものと考えています。

以上申し上げます、^{よしのなるみ}芳野成海議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 角田 悠介 議員（9番）

1 学校の教育活動に関すること

ただいまの^{つのだゆうすけ}角田悠介議員のご質問にお答え申し上げます。

学校の教育活動に関することについてであります。まず、1人1台学習者用コンピュータの今後の使い方につきましては、「使い方に慣れる」段階から「個別学習、グループ学習、一斉学習などにおいて効果的に使う」段階へと、少しずつ利用場面を広げていく予定です。

市内の学校では、1学期、カメラ機能を使って植物の観察記録をまとめたり、ドリルパークの問題に数多く取り組んだり、様々な活用が見られました。

2学期は、互いの考えを比べ、よりよい考えを導くためにロイロノートを使ったり、苦手な計算を克服するためにドリルパークの問題に繰り返し取り組んだり、1人1台学習者用コンピュータを授業で使いながら、楽しく学ぶことを期待しています。

教育委員会としても1人1台学習者用コンピュータの効果的な使い方について情報提供するなどして各学校を支援していきます。

次に、各学校のパソコン室にあるコンピュータにつきましては、1人1台学習者用コンピュータに入っていないソフトを利用するときや、コンピュータ室のプリンターで印刷するときに活用するなど、しばらくの間は、1人1台学習者用コンピュータと使い分けることとなります。

1人1台学習者用コンピュータもパソコン室のコンピュータも学習を深める道具として有効に利用してほしいと考えています。

以上申し上げまして、^{つのだゆうすけ}角田悠介議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 井上 愛栴 議員（10番）

1 街灯の設置について

いのうえまなか
ただいまの井上愛栴議員のご質問にお答え申し上げます。

街灯の設置について、であります。市では、夜間の通行に危険や恐怖を感じる路地などに、防犯灯という街灯を市域全体で約5,200基設置し、歩行者の安全確保と犯罪の防止に努めています。

防犯灯の設置にあたっては、各町の区長さんからの要望に基づいて、職員が現地調査を行い、最適な位置に設置していますが、井上議員のご質問にもあるように、地域によっては空き家の増加などにより、夜歩くのに不安を感じるような場所もあると思われまますので、引き続き防犯灯の設置を行ってまいりたいと考えています。設置場所については、各区長さんと意見交換しながら、地域住民が不安を感じるような箇所など、より効果的な場所に設置できるようにしていきたいと考

えています。井上議員におかれましても、通学途中でそういった場所
がございましたら、学校の先生や保護者の方を通じて区長さんにお話
をしていただければと思います。

以上申し上げまして、井上^{いのうえまなか}愛柁議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 角田 大河 議員（11番）

1 高齢者福祉の充実のための施策について

ただいまの^{つのだたいが}角田大河議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者福祉の充実のための施策について、であります。市では、生き生き長寿のまちづくり計画を策定しており、3年ごとに計画の改訂を行いながら、介護保険制度の充実を図るとともに、必要な福祉サービスが提供できる体制の整備を進めています。

年金制度については、高齢者の生活を世代間で支え合う仕組みであります。角田議員のご意見のように、少子高齢化が進む中で、支える側となる現役世代の減少が課題となっているため、高齢者を支える世代の負担が大幅に増えないよう、給付のバランスを考えながら、高齢者が安心して生活するための年金制度として、持続的に安定した運営ができるよう対策が講じられています。

市では、高齢化が進む中、住み慣れた地域で、生きがいを持って暮

らし、社会の支援が必要になったときに、適切なサービスが受けられる地域づくりを推進しており、健康維持のための介護予防事業の充実や、地域で活躍できる居場所づくりとして、老人クラブへの加入促進を図るとともに、高齢者の保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援するため、介護、医療、保健、福祉等の総合相談窓口となる「地域包括支援センター」の更なる機能の充実を図りたいと考えています。

以上申し上げまして、^{つのだたいが}角田大河議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 阿部 帆乃果 議員（12番）

1 消費者の保護について

ただいまの阿部帆乃果議員のご質問にお答え申し上げます。

消費者の保護についてであります。本市では、毎年市内の小・中学生全員に、インターネットの危険性や安全に使うためのルールなど、消費者として必要な最新情報を掲載したリーフレットを配付し啓発を行っています。

また、令和4年4月からは、成年年齢が18歳に引き下げられる予定であり、今後それぞれの世代に応じた消費者知識がますます必要となることから昨年度は、利根沼田地区の高校に通う1・2年生に、若者を取り巻く消費者トラブルの事例を掲載したリーフレットを配付いたしました。

そのほか、沼田市消費生活センターでは、特殊詐欺等に関する消費生活センターニュースを年4回発行し、全戸回覧や市のホームページ

に掲載しているほか、広報ぬまたでも身近なトラブルの例を上げて注意喚起しています。今後につきましても、引き続き最新の情報を提供していきたいと考えています。

なお、阿部議員ご指摘のとおり近年小・中学生においても携帯電話が身近な持ち物になり、ワンクリック詐欺やオンラインゲームでの課金など、その仕組みを理解せず興味本位で操作することにより、高額請求されるなどの問題が起きています。トラブルが起きてしまった場合、人に言いづらい、相談しづらいとは思いますが、一人で悩まずに思い切って保護者に相談してください。その上で消費生活センターにも相談をしてください。相談内容などの秘密は固く守られますので安心してください。

以上申し上げまして、^{あべほのか}阿部帆乃果議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 篠原 涼司 議員（13番）

1 図書館に関すること

ただいまの篠原^{しのはらりょうじ}涼司議員のご質問にお答え申し上げます。

図書館に行かなくても本の情報を知ることができるサービスについて、であります。パソコンやスマートフォンを利用することが可能な場合は、沼田市立図書館のホームページで蔵書検索を行う方法があります。検索した本の簡単な紹介や、著者についての説明を見ることができますので、読みたい本を探してPTAの方や先生にリクエストする際には、手助けになると考えます。書名や著者名、キーワードなどで検索する方法のほか、新しく図書館に入った本や貸し出し回数の多い順番で表示させることもできますので、知らない本と出会う手取りにもなるものと考えます。

次に、図書館で小学生などに本の魅力を知らせるために行っている取り組みについて、であります。図書館3階フロアでは、おすすめ

本の紹介や特集コーナーの設置など、本を手にするきっかけとなるような配置を工夫しています。また、年6回発行している「ほんのもり通信」を市内の各小中学校にも配布し紹介しているほか、「読書通帳」の配布、「夏休みイベント」の実施、借りた冊数に応じて行う「優良読書児童表彰」など、図書館を楽しみながら利用するための取り組みも行っています。

読書は、人生をより深く生きる力を身につける上でとても大切なものでありますので、児童、生徒の皆さんが本に親しむための手助けとなるよう、今後も図書館の運営に努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げます。篠原涼司しのはらりょうじ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 青柳 はるか 議員（14番）

1 害獣被害の削減及びこれからの環境に対応した商品作物の開発について

ただいまの青柳^{あおやぎ}はるか議員のご質問にお答え申し上げます。

害獣被害の削減及びこれからの環境に対応した商品作物の開発についてであります。野生鳥獣による農作物への被害は、営農意欲の減退や耕作放棄地増加等被害額以上の影響を及ぼしており、深刻な状況が続いています。

青柳議員ご提案の利根実業高校の研究結果である園芸用青色ポットとイルミネーション用青色LEDライトを組み合わせた侵入防護柵につきましても、期待される取り組みでありますので業務の参考としていくとともに、夜間のライト設置による農作物への影響やイノシシ以外の害獣への効果等についても利根実業高校の研究を注目し、気に掛けてまいりたいと考えています。

また、侵入防護柵以外の害獣防止対策については、「沼田市鳥獣被

害対策実施隊」による捕獲活動や専門的知識を有する者による被害地の現地調査等を行い、状況に応じた捕獲・追い払い等の被害対策計画の立案、被害農家への助言、事後フォロー等を実施しています。

次に、これからの環境に対応した商品作物の開発についてですが、地球温暖化などによる気候の環境変化に対応できる作物への品種改良等の取り組みでは、沼田市井土上町にあります群馬県中山間地園芸研究センターにおいて、リンゴの早生品種で果皮の着色不良や果肉の軟化傾向の改善をした「おぜの紅」などの新品種の育成が行われています。新たな商品作物の開発には、時間や費用を要しますが、生産者、群馬県、関係研究機関等と連携し、新しい沼田のブランド開発を進めていきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{あおやぎ}青柳はるか議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 宮野入 椿 議員（15番）

1 中心市街地のまちづくりについて

ただいまの^{みやのいりつばき}宮野入 椿 議員のご質問にお答え申し上げます。

中心市街地のまちづくりについてであります。まず、大正ロマンのまちづくりによって、どのくらい人出が増えているかにつきましては、昨年春からの新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べ、人出は大きく減少しているのが現状です。

大正ロマンによって、どの程度効果が出ているのかは、具体的にお示しすることはできませんが、コロナ禍終息後には、来場者が増えることを大いに期待しているところです。

利用者からどんな声が上がっているか、につきましても、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、アンケートを実施しておりませんが、以前に行った旧土岐家住宅洋館活用アンケートでは、成人式・結婚式の記念撮影、ワークショップやミニコンサートの開催などの

意見がありましたので、今後の施設活用、中心市街地のまちづくりに活かせていけたらと考えています。

次に、スケートボードにつきましては、本年7月から8月にかけて開催されました「東京2020オリンピック競技大会」において、新たに採用され、男子ストリートでは22歳の堀^{ほり}米^{こめ}雄^{ゆう}斗^と選手、女子ストリートでは13歳の西^{にし}矢^や 椛^{もみじ} 選手、女子パークでは19歳の^よそ^ぞみ^み 四十住^{よそずみ} さくら選手が金メダルを獲得するなど、我が国の競技レベルは非常に高く、若い世代を中心に関心を集めている競技であると認識しています。

スケートボードは、さまざまな障害物を使ったダイナミックな競技でありますので、場所の確保や安全性、騒音の問題など、中心市街地でのスケートボード広場の整備は難しいものと考えますが、市民の声を聞きながら、今後、研究してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、宮^{みや}野^の入^{いり} 椿^{つばき} 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 勝見 悠乃 議員（16番）

1 新型コロナウイルス感染症対策について

ただいまの勝見悠乃議員のご質問にお答え申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策についてであります。今後もしばらくは新型コロナウイルス感染症と向き合っていかなければならないため、各学校がこれまで行ってきた感染症対策を続けていく必要があります。マスク、手洗い・手指消毒、教室の換気など、基本的な対策に心掛け、楽しく充実した学校生活を送ることを強く願っています。

感染状況によっては、感染リスクの高い活動を見合わせるなど、やむを得ず学習活動を制限することもあります。楽しみな活動が延期や中止となってしまうと、誰もがさみしく感じるものです。そのような中、不安や悩みを感じた場合には、一人で抱え込まないで、周りの人に助けを求めてほしいと思います。お家の人や友達はもちろん、学校の先生方が親身になって相談に乗ってくれます。話すのが苦手な

場合には、生活アンケートや相談箱などに不安や悩みを書いて伝えることもよいと思います。

また、群馬県では心の専門家であるスクールカウンセラーを全校に配置しています。スクールカウンセラーは、児童生徒の皆さんが不安な気持ちを感じたときや、困ったときの対応の仕方を分かりやすくアドバイスしてくれます。

教育委員会としましても各学校と連携して、新型コロナウイルス感染症対策や子どもたちの精神面へのサポートに引き続き取り組んでまいります。

以上申し上げまして、^{かつみ ゆの}勝見悠乃議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 新飯田 梨音 議員（17番）

1 テラス沼田を中心とした居場所づくり

ただいまの^{にいだりおん}新飯田梨音議員のご質問にお答え申し上げます。

テラス沼田を中心とした居場所づくりについて、であります。テラス沼田は市役所機能のほか公的機関や市民の皆さんが活動したり、地元の人が気軽に立ち寄っていただけるような複合施設としてオープンしました。フードコートやオープンテラスの配置、学習用に会議室を開放するなど子どもたちの居場所作りに努めています。

また、観光客の皆さんにも立ち寄っていただけるように歴史資料館を整備し、周辺の沼田公園や中心商店街も含め、楽しんで回遊してもらえるような仕掛け作りなどの検討も進めています。

大河ドラマ真田丸の放送以来、中心市街地では沼田公園を中心として県内外からの観光客が増えており、街なかには利根沼田の新鮮な野菜を扱う「農産物直売所」、地域で愛される「味噌まんじゅう」等の

お店などがあり、地域住民はもとより観光客にも好評ですが、
今後も「利根沼田産のもの」の取扱いについて、関係者と研究を進め
てまいりたいと考えています。

^{にいだ}
新飯田議員ご提案の子どもが安全に楽しめる場所や、魅力あるお店、
情報を発信する施設については、大変重要な要素と考えていますので、
引き続き、都市公園の施設更新やテラス沼田の更なる活用など、周辺
の商店街、関係者等と協力しながら、魅力的な居場所づくりを進めて
いきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{にいだりおん}
新飯田梨音議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

質問者 平田 桜子 議員（18番）

1 沼田市の防災について

ただいまの^{ひらたさくらこ}平田 桜子議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の防災についてであります。沼田市防災マップは、今年の3月に2万5千部を作成し、市民に危険箇所をお知らせするとともに、防災意識を高めていただくよう全世帯へ配布いたしました。

平田議員のおっしゃるように、防災マップには災害への日頃の備えや心構えをイラストなどで分かりやすく説明するとともに、避難場所や避難所の他に土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などのハザード情報も、地図に記載し、市民への周知に努めています。

災害はいつ起こるかわからないことから、いざというときに落ち着いて行動できるように、防災マップは玄関などの目の付きやすい場所で保管し、活用いただきたいと思います。

また、平田議員ご提案の、市民の目につきやすい場所に防災情報を

掲示することは、市民への周知や災害が発生した時に慌てて行動し怪我をしないためにも大切なことと思っています。また、防災に関する資料を学校に配布することも大切なことでもありますので、地域の役員や教育委員会、学校と相談し安全安心のための防災対策を研究・検討してまいりたいと考えています。

以上申し上げます、^{ひらた さくら こ}平田 桜子議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 星野 葉佑 議員（19番）

1 高齢者も暮らしやすい町づくりについて

ただいまの星野葉佑議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者も暮らしやすい町づくりについて、であります。令和3年5月1日現在、沼田市の65歳以上の人口は1万5,967人で、高齢化率は34.4パーセント、3人に1人以上が高齢者となり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の割合も増加傾向にあります。

介護保険制度の創設から20年以上が経過する中、地域に必要な介護施設等の整備が進められており、市では、高齢者福祉を推進するため、在宅での生活を安全で快適に営むための住宅改修費用の支援をはじめ、移動支援として、敬老バスカード助成事業や福祉タクシー利用券の交付などのほか、日常生活を支援する訪問型サービスや生活機能の維持・改善のための通所型サービスを提供しています。

また、地域の皆さんの交流の場として、各地区コミュニティセンタ

一や、星野議員がお住まいの地域の集会施設等においても、介護予防のための、福老体操等による健康運動教室の開催や、高齢者筋力向上トレーニング事業等を通じた、地域の自主的な活動を支援するとともに、星野議員のご意見のとおり、地域の人同士で会話ができ、憩いの場をつくることは、外出機会の提供や居場所づくり、仲間づくりなどにもつながることから、沼田市社会福祉協議会が進めている「ふれあい・

いきいきサロン」の設置を推進しています。

今後、高齢化はさらに進展することが見込まれており、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立して生活ができるよう、医療、介護、住まい、予防等に関する支援を包括的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、取組を推進したいと考えています。

以上申し上げまして、^{ほしのかんすけ}星野栞佑議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 坂本 唯斗 議員（20番）

1 ポイすてをどうやってへらすか

ただいまの坂本^{さかもとゆいと}唯斗議員のご質問にお答え申し上げます。

ポイすてをどうやってへらすか についてであります。沼田市では、「沼田市くらしの環境美化条例」を制定し、市民や本市を観光等で訪れていただくお客様に対しても、「公共の場所において自分ごみは自分で持ち帰り、又は適正に処理し、くらしの環境美化に努めること」としています。

吹割の滝の遊歩道・市営駐車場、では、地域の方々にお願いし、定期的な清掃を行っていますが、坂本議員ご指摘のとおり、少なからず心無い方のポイ捨てが見受けられるのが実情です。

ゴミ箱を設置し利用していただくことは、ポイ捨てを防ぐ有効な手段の一つであると思いますが、反面、ゴミ箱にゴミがあふれてしまったり、臭いなどが発生してしまうことも考えられ、観光地としてイメ

ージダウンにつながってしまう懸念もあります。

また、吹割の滝は自然の景観を楽しむ景勝地であることから、安全のための施設の設置などは別ですが、訪れていただいた皆さんに、できるだけ自然の状態を楽しんでいただきたいと思います。

市では、ごみのポイ捨てを少なくする取組として、ごみのポイ捨てが不法投棄などにつながる大きな問題と認識していることから、ポイ捨て防止の看板や不法投棄防止の看板を作製し、必要に応じて区長さん等に設置していただいています。

今後も、住む人にとっても観光に訪れた人にとっても居心地のよいまちを目指し、市内の環境美化と自然環境の保全に取り組んでまいりたいと考えています。

以上申し上げます、^{さかもとゆいと}坂本唯斗議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 小林 ゆう 議員（21番）

1 沼田市の観光を通じた発展についての提案

ただいまの小林^{こばやし}ゆう議員のご質問にお答え申し上げます。

「沼田市の観光を通じた発展についての提案」についてであります。看板の役割は、名所や観光資源などを紹介する「説明」と、マップや進行方向などの「案内」が主な役割になると思います。

小林議員のおっしゃるように、ナビなどを使いこなすことが難しい方にとっては、看板は現地での目印や案内として重要な役割を担っており、ある意味、「地域の顔」とも言えます。

また、より分かり易い看板を整備することで、観光にいらっしゃった方に良いイメージをもっていただくと共に、快適な旅を楽しんでもらうことに繋がると考えられます。

現在は、観光を含む様々な情報が、デジタル化により発信されておりますが、小林議員ご指摘のとおり、イラストなどの入った案内表示

はイメージアップに繋がるなどの効果も期待できるのではないかと考えられます。

今後は、インターネットや情報の拡散に有効なInstagramやフェイスブック、ツイッターなどのSNSの活用に加え、観光看板が持つ役割を上手く組み合わせながら、より効率的、効果的な情報発信を行い、多くの皆様に足を運んでいただけるよう努めてまいりたいと思います。

また、観光客の方に満足していただき、再び沼田へ訪れたいと思っ
ていただけるように、観光協会や関係機関と連携を図りながら、地域の活性化に繋げてまいりたいと考えています。

以上申し上げます、^{こばやし}小林 ゆう議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{あきなが}秋永 ^{ゆず}柚 議員（22番）

1 3 R 運動について提案

ただいまの^{あきなが}秋永 ^{ゆず}柚議員のご質問にお答え申し上げます。

3 R 運動について提案 であります、

まず、秋永議員が在籍する池田小学校を始め、市内小・中学校の児童・生徒の皆さんが、通学路の空き缶拾いなど、ボランティア活動で地域の環境美化に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。

さて、リデュースについて、給食の牛乳パックを大きな容器に変えて、マイカップに注ぐ方法にすることで、牛乳パックとストローの削減につながるのではとのご提案についてであります、給食については、児童・生徒の皆さんに、安心・安全に提供することが最も重要であります。そのため、給食の食材の管理、調理、配送などにおいて衛生管理を徹底しています。そんな中で、牛乳を大きな容器からマイカップに注ぐ方法に変更する場合は、大きな容器やマイカップを衛生的

に管理する方法や牛乳パックを大きな容器に変えることによる運搬方法の変更など、安心・安全に提供するために解決しなくてはならない課題があると考えています。ご提案いただいた方法が実施可能かどうか、研究してまいりたいと考えています。

次に、リユースについてであります。市民プールにつきましては、例年、約10,000人の利用者に足を運んでいただいている人気の高い施設であります。平成2年3月建築後、30年以上が経過し、一部、老朽化が進んでいるところも見受けられるところです。今年度は、来季に間に合うように、スライダーの補修を予定しており、計画的に修繕・補修を行うことにより、安心して楽しくご利用いただきたいと考えています。

最後に、リサイクルについてであります。沼田市では、ごみを17品目に分け、資源15品目の再商品化を行っています。また、燃やせるごみや燃やせないごみの中には、まだ、たくさんの資源が含まれていると考えています。例えば、燃やせるごみの中には、紙類や容器包装プラスチックなどで、これを資源に回すことにより、燃やすご

みの量が減り、二酸化炭素の排出量が抑えられるなど、環境に良いことに繋がるものと考えています。このことから、皆さん一人一人がごみの分別やリサイクルを心掛けていただくことで、環境に優しい社会づくりが実現できるものと思いますので、これからも皆さんのご協力をお願い申し上げます。

なお、沼田市におきましては、ごみ分別についての出前講座を行っていますので、ぜひ、ご活用ください。

以上申し上げまして、^{あきなが}秋永 ^{ゆず}柚議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 高橋 茜空 議員（23番）

1 滝坂のエレベーター建設について

ただいまの^{たかはしあかね}高橋茜空議員のご質問にお答え申し上げます。

滝坂のエレベーター建設についてであります。河岸段丘の上段にある中心市街地とジェイアール沼田駅との80メートルを超える高低差は、市街地の分断と歩行者支援の課題として、これまでも幾度となく話題になったことがあります。

過去には、ロープウェイ、屋根付きの動く歩道やチューブ状のエスカレーターなどの提案もあり、エレベーターについては、実際に事業化に向けた準備に取りかかったこともありました。今後益々、人口減少が進み、通勤、通学等による公共交通機関の利用が減ることが予想される中、現在、中心市街地で進めている大正ロマンのまちづくりとストーリー性を持たせることで、鉄道やバス路線の維持、観光客誘致による地域の活性化を図ることは、大変重要なことと考えています。

同時に、滝坂を通勤、通学で利用する歩行者の人数、沼田駅を利用する観光客の動向を考えますと、建設後、どのように施設の維持管理を続けていくのかも重要な問題であります。

沼田市のシンボルとなるようなレトロ映えする外観を持つ、通勤、通学等の歩行者にやさしく、観光客の交通手段となる滝坂のエレベーター建設のご提案につきましては、沼田市の未来を考えながら、今後の施策の参考とさせていただきたいと考えています。

以上申し上げます、^{たかはしあかね}高橋茜空議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 本多 礼伊 議員（24番）

1 小中学生も参加でき健康になるまちづくり

ただいまの本多^{ほんだ}礼伊^{れい}議員のご質問にお答え申し上げます。

小中学生も参加でき健康になるまちづくり、についてであります、沼田市では、健康づくりに市全体で取り組むため、健康増進計画「健康ぬまた21」を策定し、「ころがかよいあう、活力あふれた健康なまちづくり」を基本理念として、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」などの各分野の目標達成に向けて、各世代に応じた具体的な取組を推進しているところであります。

身体活動・運動の施策では、「自分に適した運動習慣を身につけ、楽しく継続する」ことを全世代の目標として、親子と0歳から19歳の青少年期では、「親と子のコミュニケーションを大切にし、親子で楽しむ運動」や「生涯にわたり運動習慣を身につける」ことを市の取組に掲げ、市民の皆さんには、「ゲームやテレビなどの時間を減らし、

楽しく身体を動かす時間を増やすこと」や「体調に合わせ、自分のペースで運動に取り組むこと」などの取組を推進しています。

また、平成30年度に「スマートウェルネスぬまた推進事業」を導入し、その取組の一つとして、活動量計を使用したウォーキングを推奨するとともに、健康ポイント制を取り入れており、貯まったポイントは、沼田市電子地域通貨「tengoo（てんぐー）」へ移行でき、市内の加盟店で利用いただいています。

市では、「ゲーム感覚で楽しみながら健康づくりを推進することや地域活性化にもつながる」、^{ほんだ}本多議員のご意見も参考として、スマートウェルネスぬまた推進事業の参加年齢の見直しや事業内容等の検討も行い、「歩いて健康になるまちづくり」を、今後更に推進していきたいと思っております。

以上申し上げます、^{ほんだ れい}本多礼伊議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 菅野駿介議員（25番）

1 沼田市の将来について思うこと

ただいまの^{かんのしゅんすけ}菅野駿介議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の将来について思うことについて、であります。ご意見いただいたように、ずっと沼田に住みたいと思える、沼田が好きだから戻ってこようと思える人を増やすために、まずは、住んでいる私たちが沼田の良さを知り、それを誇りに思えることが何より大切だと考えています。

家の近くの国道を県外の車がたくさん通って近隣の村へ行っているのをご覧になっているとのことですが、市内にも沼田城趾公園や玉原高原、吹割の滝など、人気の場所があり、それらに立ち寄る観光客もいらっしやいます。周辺の町村と力を併せて観光客など外から来る人の流れができると思います。

また、^{かんの}菅野議員のおっしゃるように、沼田は街のような所と田舎の

所があります。まさに、自然とふれ合いながら便利な生活ができるところが沼田の魅力です。働きたい場所や楽しめる場所は、意外に身近な所にあります。都会の人達が自然とのふれ合いを求めて田舎にやってくるように、都市部にはない魅力が沼田にはあります。交通機関や運送、通信技術の発達によって、これからの生活はどんどん変わってくると思われます。沼田で暮らしながら東京など都市部の会社で働くことができるようになってきています。

沼田市の人口は減少傾向にありますが、それは日本全国の地方都市に同じく見られることです。沼田市では、安心して働ける環境の実現、移住・定住の推進、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備などを図りながら、沼田に合わせた暮らし方や仕事の仕方を住んでいる私たちが見つけながら、沼田市の良さを発信していきたいと考えています。

以上申し上げまして、菅野 駿 介かんの しゅんすけ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。